

「パルシステムのお葬式」 セレモ共済会ってどんな葬儀会社？



社員100%

セレモ共済会では、組合員の「大切な方」のご葬儀にアルバイトや派遣社員でなく、正社員による施行を遵守しています。



葬祭ディレクター

ご遺族のさまざまなご要望にも的確にお応えできるように葬祭ディレクター（厚生労働省認定 葬祭ディレクター-技能審査）が多数在籍しています。



5つ星認定

JECIA(葬儀格付機関) 最高位5つ星、全葬連によるAA評価、葬祭サービスガイドライン遵守事業所の認定などの外部機関による認証を取得しています。



植林

葬儀(火葬)の際に発生するCO₂を回収するために、セレモ共済会ではおひとりの葬儀につき1本の苗木を植林しています。



自社生花部

自社生花部が生花祭壇を製作するため、追加料金を極力頂かずに組合員の皆様の細かなご要望にお応えできます。祭壇の色合いやお花の種類などご相談ください。



パルシステム指定葬儀社

生活協同組合パルシステム東京・千葉・埼玉と業務提携をし、組合員の皆様に安心・安全・明細会計のご葬儀をお約束いたします。

家族葬や葬儀についてのご相談は

☎0120-41-4021 までお電話ください！



「万が一のとき」に慌てないための 「事前準備セット」を無料でお届けします

葬儀の手続きや
手順がわかる
「葬儀案内」

準備しておけば
安心
「事前準備」

お住まいの
地域の
「式場資料」

+

最近のトレンドがわかる
「葬儀情報誌 FUNERAL」



OCR注文用紙の6ケタ商品注文欄に、
下記の資料請求コードをご記入ください。

資料請求
コード **101940**

※資料の発送は、ご請求から約1~2週間後となります。
お急ぎの方は、下記フリーダイヤルまでお電話ください。

お知らせ

不定期で開催してまいりました「安心葬儀学習会」は、新型コロナウイルスの影響を考慮しまして開催を見合わせております。三密回避のため、対面での打ち合わせなどは回数を減らすなどの対策を行っておりますが、問い合わせやお見積りもりの相談はお電話で随時承っております。

対応エリア

セレモ共済会は、東京・埼玉・千葉・
神奈川エリアで葬儀を承っております。
お気軽にご相談ください。



葬儀についてのご相談、事前のお見積りなどお気軽にフリーダイヤルまでお電話ください！

生協パルシステム東京 提携店



年中無休 24時間受付

☎0120-41-4021

〒164-0003 東京都中野区東中野3-17-15 <https://www.ceremo.jp/>

セレモ共済会 検索

お問い合わせの際は「パルシステム東京 組合員」とお伝えください。

パルシステム東京組合員の方は、万が一の際に組合員価格でご利用いただけます。

pal*systemのお葬式



生活協同組合
パルシステム東京
2020年 6月4日

年中無休24時間受付 セレモ共済会 検索
☎0120-41-4021
葬儀に関しては、直接セレモ共済会まで
お問い合わせください

大切な人だからこそ選びたい パルシステムの「家族葬」

大切な人との大切な時間を思い出しながら
ゆっくりとお別れをしたい。
そんなとき、選ばれているのが少人数で行う「家族葬」。
パルシステムのお葬式は
気心知れた人たちと、大切な人の思い出を語り合う
温かなお見送りのお手伝いをいたします。



質の高いサービスを組合員のみなさまへ

見積もり・
相談無料

事前登録・
積立金不要

24時間
365日受付

明瞭で適正な
組合員価格



生協パルシステム東京 提携店



年中無休
24時間受付

☎0120-41-4021

資料請求・葬儀に関するお問い合わせはフリーダイヤルまでお電話ください！



家族葬とはどんなお葬式？

実際にはご家族だけではなく親しかった方々も集まった葬儀が多く、「小規模な葬儀」という意味で用いられているようです。「参列者への対応」「気遣いの軽減」「故人とお別れがゆっくりできる」などの点が最大の特徴です。



参列者

家族や親族、親しかった人のみで



人数

人数制限はないが少人数が基本



宗教

どんな宗教・宗派でもOK

家族葬とは、親族の方のみお招きする葬儀のように聞こえますが、参列者の範囲については明確な線引きがありません。故人やご家族の気持ちを第一に考え、参列者を決めましょう。

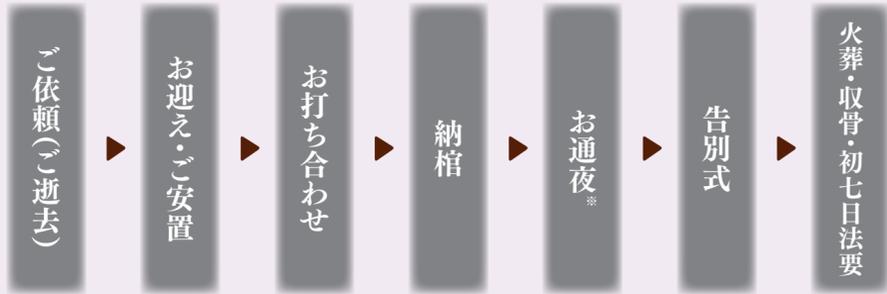
親族のみで家族葬を行う場合、参列者は10~30名程度になることが多いです。しかし、同じ家族葬でもご家族によって人数が変化するので、あらかじめ参列者を決めておくことをおすすめします。

家族葬は、宗旨宗派を問わずに葬儀を行うことができます。パルシステムのお葬式では、仏教や神道、キリスト教、無宗教葬、その他宗旨宗派に対応。お坊さんや宗教者もご紹介可能です。

家族葬の流れ

家族葬は一般の葬儀と変わらず、お通夜・告別式から火葬・初七日法要までを行います。お通夜を行わず、告別式だけ行う一日葬も選択できます。参列者の数が少ないことで、一般の葬儀よりもゆっくりと故人とお別れすることができます。

【基本のスケジュール】



*一日葬の場合は省きます。



家族葬と一般葬の違い

「家族葬と一般葬の違いって何？」や「名前は聞いたことあるけど、実際何が違うのかよくわからない」という方は多いのではないのでしょうか。そのふたつを比較して、ご紹介いたします。

	家族葬	一般葬
特徴	親族や、親しい友人などが参加するお葬式。少人数であることが多い。	参列者の範囲を限定しないお葬式。故人の交友関係で人数が変化する。
メリット	近しい方だけが参列するので、気遣いの負担が減る。参列者が少なければ、返礼品や料理の費用を抑えることができる。参列者の人数を予想しやすく、料理の数を決めやすい。	お世話になった方々が最期のお別れをすることができる。たくさんの参列者を見て遺族が励まされる。
デメリット	声かけしなかった人の中に、参列したかった人がいるかもしれない。香典の数が少なくなり、実質の出費が一般葬と変わらない場合がある。	参列者の人数を予想することが難しく、通夜の料理の数を決めることが難しい。参列者の対応に追われた結果、慌ただしい式になる場合がある。

このようなケースは家族葬をご検討ください

都会暮らし
(近所付き合いの
少ない方)

既に退職して
いるなど仕事上
支障がない

気心知れた
身内だけで
ゆったりと
見送りたい

家族葬は少人数の葬儀なので、大勢の参列者が予測されるような場合には適していません。「近所付き合いがほとんどない」「仕事の関係者を呼ぶ必要がない」など、少人数で問題ない場合は家族葬が適しています。ゆっくりと身内だけで見送りたいという場合も、家族葬がよいでしょう。

パルシステムのお葬式「家族葬」シミュレーション

状況

Aさん(杉並区在住・50代女性)の場合

都内(大田区)にひとりで暮らす母(83歳)が病気で亡くなった。父はすでに他界。

参列予定

Aさん家族(3名)、Aさんの妹家族(2名)、母の兄夫婦(2名)、母の妹、母と特に仲良かった友人(2名)の合計10名。

要望

葬儀は母の自宅近くの式場で、お付き合いのあるお寺のご住職に御経をあげてもらう予定。参列者に高齢の方が多いので、通夜は行わず一日葬。ピンクが好きだった母のため、祭壇はシンプルでもピンクのお花で作ってほしい。

お見積り例「10名の家族葬」

1 生花祭壇・セットコース費用
(パルシステム組合員価格)

- 生花祭壇 ※1 CF-7 300,000円
- セットコース※2 Cコース 200,000円

セットコースCに含まれるもの

ドライアイス 2日分	霊柩車 10kmまで	当日お香立	枕飾り
仏衣・旗支度	お棺	遺影写真	焼香用品 等類用品
白木位牌	葬儀受付用品	手続き代行	環境保護樹林

● 諸雑費(儀式進行・接客料) 50,000円

生花祭壇・セットコースの合計 550,000円

2 斎場や火葬場等の実費費用
【大田区 臨海斎場を利用した場合】

- 斎場使用料 100,000円
- 火葬料(非課税) 40,000円
- 搬送料(安置所から臨海斎場まで) 25,000円
- 宰領(火葬場の案内係) 12,000円

斎場や火葬場等の実費費用の合計 177,000円

3 おもてなし費用

- 精進料理
(会席料理@3,500円×10名分) ... 35,000円
- 配膳人(1名) 12,000円
- お飲物代(1日分) 10,000円
- 会葬御礼品(@1,000円×5名分) 5,000円

おもてなし費用の合計 62,000円

**1+2+3
=葬儀費用合計 789,000円**
(税別)

※上記見積りには消費税、宗教者への謝礼、心付け、ご供花などは含まれておりません。
※葬儀の日程によっては、ドライアイス等の費用が追加になる場合があります。

お見積りポイント

お母様のご自宅に近い式場を希望されておりますので、大田区の臨海斎場をご提案いたしました。大田区にお住まいの方は特別料金で利用でき、火葬場併設の斎場ですので、霊柩車を使用する必要がありません。また、祭壇もご家族の意向を汲み、ピンクのお花で製作する小さめの生花祭壇を提案。そしてお亡くなりになった病院から安置場所までの距離も10km以内だったため、セットコースCを提案いたしました。



コラム 今、生花祭壇が人気の理由



故人のためだけにつくられた祭壇

以前は、白木でひな壇のように段を組んだ白木祭壇が主流でした。しかし、白木祭壇は宗教色が強いので、自由度の高い生花祭壇が現在は主流となっています。また、生花で祭壇を作るため、「故人のためだけに作られた祭壇」という点も人気の理由。最後に参列者で、祭壇のお花をお棺に入れてお見送りできるのも魅力です。

